

研修期間：2016年3月11日～3月22日

参加者： 看護学専攻 博士課程前期 2年 2名、学部 3年 3名、医学科 4年 1名  
(平和人権グループ 学生 7名)

引率： 主引率 准教授 中坂 恵美子 助教 田淵 啓二  
副引率 副学長 西谷 元 教授 森山 美知子

対応学部： Universitat Rovira i Virgili (URV) 看護学部

滞在都市： Tarragona Spain

宿泊施設： ALEXANDRA aparthotel

3月11日 (金)

18:00 広島空港にて平和・人権グループと一緒に結団式を行う。羽田で乗り継ぎ  
Spain へ向けて出国。

3月12日 (土)

5:20 フランクフルトで乗り継ぎ。

EUでの入国審査(テロ対策のためボディチェック等に時間がかかった)

09:00 Spain Barcelona 空港に到着

URVが用意したバスでTarragonaまで移動し、ホテルにチェックイン。

西谷先生の案内で、ローマ時代の円形競技場など、Tarragona市内の遺跡を散策。

18:00 Tour around Tarragona URVが準備してくれた現地ツアーガイドによる英語  
の説明を受けながら、世界遺産の街を巡り、研修地の歴史について理解を深めた。

17:00 ホテルの部屋にて全員で集まり、参加者の懇親会を行う。

3月13日 (日)

自由時間には学生達は自分達で計画をたて、聖地 Montserrat へ観光に出かけた。

16:00 西谷先生から Spain、Tarragona、ローマ時代からの歴史に関するレクチャーを受  
けた。

3月14日 (月)

09:30 Welcome to URV

URVの看護学部長、本プログラムのコーディネーター、担当教員から歓迎のご挨拶を受ける。

URV側学生と広島 大学学生同士で、自己紹介などを通して交流を深めた。

14:00 Maria先生の案内で URV キャンパス内の看護演習室、シミュレーション教室な  
どを見学した。

15:00 Development of the Spanish and Catalanian Health System

URV 内ゼミ室で EU、Spain、Catalonia の保健医療システムについて日本との違いについて意識しながら学んだ。

16 : 00 Introduction at the hospital care system. Study visit at the: Hospital Universitari Joan XXIII

看護部長（URV の看護管理学教授兼任）と、看護教育担当者（URV の情報学教授兼任）から、病院の概要について説明をうけた後、病院見学（リハビリ室、外科病棟、NICU 等）を行った。

3 月 15 日（火）

9 : 00 Mental Health system in Spain

URV 内で Spain の精神保健医療の歴史・政策等について講義を受けた。

11 : 00 Study visit Mental health Hospital

Reus にある、メンタル・ヘルス・ホスピタルへ車で移動。病院の実習指導者の案内で外観を中心に見学。100 年以上前の上流階級の患者を対象とした入院施設は現在使用されていないため施設内を見学できた。

15 : 30 Complementary therapies in nursing care

URV 看護科 3 年生の選択科目である Complementary therapies in nursing care の学内演習（リフレクソロジーとリラクゼーション）に参加。

19 : 00 Tapas and Castells at Plaça de la Font

URV が主催した夕食会。バルにて、医療グループ、人権・平和グループ、スペイン人学生と教員が食事をしながら歓談した。食事後、Human Castle の練習見学を 2 か所で行った。地域住民の活動に触れる機会となった。

3 月 16 日（水）

10 : 00 International Nursing: nursing procedures in different care situations

URV の別キャンパス Baix Penedes-Comarruga へ車で移動。看護学部 2 年生の選択科目である英語での講義に参加した。学生も英語で活発に討議を行った。

15 : 30 Introduction at the elderly assistance. Study visit at the Socio-Sanitari Center.

URV 内でスペインでの高齢者医療について講義をうけた後、Tarragona 市内にある高齢者ケア施設へ車で移動。施設長と看護師長の案内で見学した。実習中である同年代の看護学生とも交流した。

3 月 17 日（木）

08 : 30 Primary care system and Study visit to the Primary Care Center

URV 内で Catalonia のプライマリヘルスケアについてレクチャーを受けた後、Cambrils にある、プライマリ・ヘルス・ケアセンターへ車で移動。センター利用

者、センターの役割、実施されている保健事業、救急医療等について説明を受けた。

**12 : 00 Visit to Poblet / El Priorat**

人権・平和グループと合流し、URV の準備したバスにて Catalonia の歴史的景勝地である Poblet を訪れた。地域の伝統料理を食したり、ワイナリーを訪問するなど Catalonia 地方の地場産業について触れる機会となった。予定外であったが、URV のご厚意で、ローマ時代に作られた歴史的価値のある水道橋 (El Puente del Diablo) も見学することができた。

3月 18日 (金)

**10 : 00 Introduction to Faculty of Nursing**

スペインでの看護教育について Maria 先生から最後の講義を受けた。学生は今までの疑問点等について、Maria 先生と活発に意見の交換を行った。

**11:30 “Have we met what we expected?”**

平和・人権グループと合流し、今回の URV 研修プログラムの振り返りを行い、学生全員が本研修の感想を英語で述べた。

**14 : 00 Calcotada Restaurant Sol Ric**

Catalonia の伝統料理 (ネギの炭火焼きや肉料理) を食べながら、両国の学生、教員で今回の研修について談笑し、交流を深めた。スペイン流のお別れの挨拶を交わし、URV 内での研修は修了となった。

3月 19日 (土)

**08:30 Field Study Tour**

URV が用意したバスで Barcelona へ移動。Catalonia 歴史博物館にて地域の歴史について動向してくれたスペイン人学生からレクチャーを受けた。

3月 20日 (日)

自由時間 Tarragona 市内を散策したり、イースターパレードを見学するなど、各々計画を立てて余暇を過ごした。

3月 21日 (月)

**8 : 00 ホテルをチェックアウトして Barcelona 市内へ向かう。**

スペイン有数の観光名所である Sagrada Familia や歴史遺産登録されているサンパウ病院を見学するなどして自由時間をそれぞれ過ごした。

**14 : 00 Barcelona 空港へ到着し、出国・通関手続きを行った。航空ダイヤの乱れによる搭乗口、出発時間の変更があったがフランクフルト経由で日本へ向かう。**

3月 22日 (火)

21：00 全員無事に広島空港に到着。解散式を行った。

#### 総括

Barcelona は世界的観光名所であり、活気にあふれた魅力的な街である。比べて Tarragona は、ローマ時代の遺跡が町中に点在し、静かだが歴史情緒あふれる魅力的な町であった。触れ合った人々はみな親切であり安全に、安心して過ごすことができた。

URV の研修プログラムは良く計画が練られており、有意義な研修を経験できた。お互い母国語ではない共通言語の英語を使用してコミュニケーションを図り、自ら進んで質問等を行った経験は学生にとって、大きな自信につながったことであろう。

Spain も深刻な経済危機状況にあり、医療システムの転換や効率化を迫られている点で日本と似た状況にある。お互いの良いところを参考にしながら、さらに交流を深めていくことが必要であろうと感じた。

( 文責 : 田淵 啓二 )